

日本学術振興会「結晶加工と評価技術」第145委員会
第91回委員総会議事録

1. 日 時： 2010年2月23日（火） 10:00 ～ 12:00
2. 場 所： 明治大学 駿河台キャンパス 大学会館 3階 第1, 2会議室
3. 出席者： 委員長： 田島 道夫（JAXA 宇宙研）
副委員長： 柿本 浩一（九州大学）
幹 事： 梅野 正隆（福井工業大学）、上田 修（金沢工業大学）、大谷 昇（関西学院）、奥村 次徳（首都大学東京）、小椋 厚志（明治大学）、鹿島一日兒（コハレントマテリアル(株)）、金田 寛（新潟大学）、西澤 伸一（産総研）、原田 博文（シルトロニックジャパン(株)）、松本 智（慶応大学）、村上 進（(株)日立）、和田 一実（東大）
委 員： 大倉 健司（光洋機械）、岸野 正剛（福井工業大学）、志村 考功（大阪大）、篠宮 勝（信越半導体）、高松 弘行（(株)神戸製鉄所）、塚本 雄二（東京エレクトロン(株)）、津田 邦男（東芝）、中幡 英章（住友電気工業(株)）、永久 哲三（シャープ(株)）、吉野 賢二（宮崎大学）、米津 宏雄（豊橋技術科学大学）、松井 純爾（(財)ひょうご科学技術協会）、原田 仁平（(株)リガク）
4. 資料 91-1 第 90 回委員総会議事録（案）
資料 91-2 第 7 期委員名簿（2010. 2. 4 現在）
資料 91-3 平成 21 年度中間収支報告書
5. 議 事
 - (1) 前回議事録（資料91-1）を承認した。
 - (2) 2010年度委員動静・幹事構成について、資料91-2に基づき報告され以下の幹事会案を承認した。
 - ・145 委員会に対して大きな貢献があった産業界委員の方はオブザーバーとして参加を認める。ただし、参加費要。オブザーバーの候補者として津屋，阿部，竹中の3名。
 - ・パネラー，コメンテーター等，研究会担当者が必要と判断した場合には委員外参加を認める。参加費不要。
 - ・旅費支給に関しては，産業界委員であっても，講演者・パネラー等で申し出のあった場合は支給可。
 - (3) F分科会の解散について以下の説明があり，これを承認した。
F分科会は，JEITAの規格作成に向けての協力要請に呼応して2004年4月に発足したが，2005年7月に規格制定後は活動が低調になり，今年度に入って幹事を初めとする多くの関係委員が退会したため，同分科会は今年度をもって解散することとし，その活動は本委員会が引き継ぐこととした。なお，F分科会委員であるが本委員会委員ではなかった委員については，経過措置として関連の研究会にのみ参加可の制限付きで本委員会委員扱いとすることとした。
 - (4) 今後の研究会企画について下記のように幹事会案が報告され，これを承認した。
テーマと担当者（*は幹事委員）は以下の通り。
 - (1) 「光デバイスの性能・信頼性向上を支える結晶工学」2010年2月23日，担当：上田*，奥村*，和田*，酒井*
 - (2) 「SiC プロセス技術の進展」SiC パワーデバイスの量産化に向けて」2010年6月11日か18日，担当：大谷*，伊藤*，木本
 - (3) 「Si フォトニクス関連」2010年7月中旬，担当：和田*

- (4) 「モビリティ・ブースター・テクノロジー」2010年10月, 担当: 酒井*, 小椋*
- (5) 「加工関連」2011年1月頃, 担当: 原田*
- (5) シリコンフォーラム2010の主催について:
- ・2010年に開催予定の本委員会が主催して行う第6回シリコン材料の科学と技術フォーラム(実行委員長: 上浦洋一教授(岡山大))において, Gösele先生の追悼セッションを初日の朝に開催し, 和田幹事が基調講演する予定との報告があった。他に外国から複数名の招待講演者を予定しているとのこと。
 - ・広告依頼の方法について村上幹事から報告があり, ご協力頂きたい旨の要請があった。
- (6) DRIP-XIVの準備状況について:
- ・委員長より標記について説明があった。2011年9月25日-29日に宮崎, シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートにて開催予定。Organizersは関口隆史(議長), 吉野賢二(現地実行委員長), 田島道夫(Advisory Committee Chair)の予定。
- (7) 特別事業とコンソーシアムの設立:
- 特別事業として「結晶Si製造・加工・評価技術研究成果」を刊行するための予算申請を行ったことが報告された。予算規模は, 3年間で500万円である。また, 電子材料用単結晶Siの人材・知識を太陽電池用Siの現場に応用するために, 物質・材料機構が事務局となり運営することが提案された。詳細については今後検討していく。この提案を承認した。
- (7) 予算の件:
- 委員長より資料91-3に基づき平成21年度中間収支報告書が報告された。本年度は会費収入減であったが, 関係各位のご努力により収支はほぼバランスし, 繰越金は昨年度と同様, 約350万円となる見込みである。この幹事会案を承認した。

以 上